

国際交流基金事業助成報告書

大阪薬科大学 薬学部 一年次生 遠上晏央

1. はじめに

この度私は国際交流基金の助成を受け約2週間オーストラリアキングスクリフに訪問したことを報告する。滞在中には現地の語学学校に通い薬学語学研修を受講しました。

2. 授業

TAFE という現地の学校で英語の授業オーストラリアの薬剤師、薬局について学びました。英語の授業では LIZ 先生が現地の生き物、文化、オーストラリアのことを含みながら楽しく学ぶことができました。また、ホームステイで会話できるように工夫した宿題をもらいホストファミリーと話す種になりました。

薬学の授業では学校で行う座学と実際に薬局に行き視察する。課外授業がありました。日本の薬局の制度とは大きく違っていました。日本では薬剤師しかいないですがオーストラリアでは調剤する薬剤師アシスタントと薬剤師がいました。また薬の区分も10段階ほどあり細かく分類していることがわかりました。日本と海外の薬剤師事情大きく異なっていることに大変驚きました。



3. 観光

授業が終わり夕方には友達と歩いて5分のビーチに行きました。とても波が高くきれいなビーチでした。



休日の日にはホストファミリーにトロピカルフルーツランドに連れて行ってもらいました。見たことがあるけど食べたことがないフルーツだらけでとても貴重な体験をしました。



4. 最後に

今回の研修で薬学についての興味がさらに増しました。将来に活かせるように頑張って勉強しようとおもいました。貴重な経験ができたことに大変感謝しています。